

▼ ウィンセフ点滴用 [注] <販売中止>

【重要度】★★★【透析患者には投与禁忌】 【一般製剤名】塩酸セフォセリス (CFSL) cefpselis sulfate 【分類】セフェム系抗生物質製剤

【単位】点滴用 0.5g、1g

【常用量】1日 1~2g (力価)、重症・難治性には1日 4g まで増量

【用法】1~2g を2回分割し、0.5~1hr かけて点滴静注する。1回 0.5~1g では0.5~1hr、1回 2g では1hr 以上かけて点滴静注する

【透析患者への投与方法】透析患者を含む腎不全のある患者への投与は重篤な痙攣、意識障害等の中枢神経症状が現れやすいため禁忌 (1)

【その他の報告】腎不全ラットでは正常ラットに比し血清、脳脊髄液ともに有意に低濃度で痙攣を発症する (Nagata M, et al: Biol Pharm Bull 24: 1049-52, 2001)

【保存期腎不全患者への投与方法】CLCr>50mL/min 以上：1回 1g を1日 2回、CLCr10~50mL/min：腎不全の患者への投与は重篤な痙攣、意識障害等の中枢神経症状が現れやすいため禁忌 (1)、CLCr<10mL/min 以下：透析患者への投与は重篤な痙攣、意識障害等の中枢神経症状が現れやすいため禁忌 (1)

【特徴】第3世代セフェム注射薬。ブドウ球菌属を含むグラム陽性菌およびシュードモナス属を含むグラム陰性菌に対して広範囲な抗菌スペクトルと強い抗菌力を有する (1)

【主な副作用・毒性】ショック・アナフィラキシー様症状、痙攣・意識障害、腎障害、血液障害、肝機能障害 (1)

【モニターすべき項目】出血時間、プロトロンビン時間、便検査 (偽膜性腸炎のチェックのため)

【代謝】代謝をうけにくい (1)

【排泄】主として糸球体濾過により腎から排泄される (1) 未変化体尿中排泄率 85.7~87.6% (Wise R, et al: Antimicrob Agents Chemother 38: 2369-2372, 1994)

【t1/2】健常人：2.3hr (1) 2hr (Wise R, et al: Antimicrob Agents Chemother 38: 2369-2372, 1994)

【透析患者の t1/2】非透析時約 40hr、透析時 3.5hr (1)

【蛋白結合率】9.5~20.6% (1)

【Vd】16.2L (1)

【MW】620.65

【透析時 t1/2】透析時 t1/2 は 3.5hr で透析性は良好 (1)

【TDM のポイント】TDM の対象にならない

【CL】105mL/min (1)

【腎 CL】97.9mL/min (1)

【非腎 CL/総 CL】6.8% (1)

【O/W 係数】0.00052 (n-octanol/pH7) (1)

【pKa】2.1, 3.0 (1)

【更新日】20081103

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。